

子育て

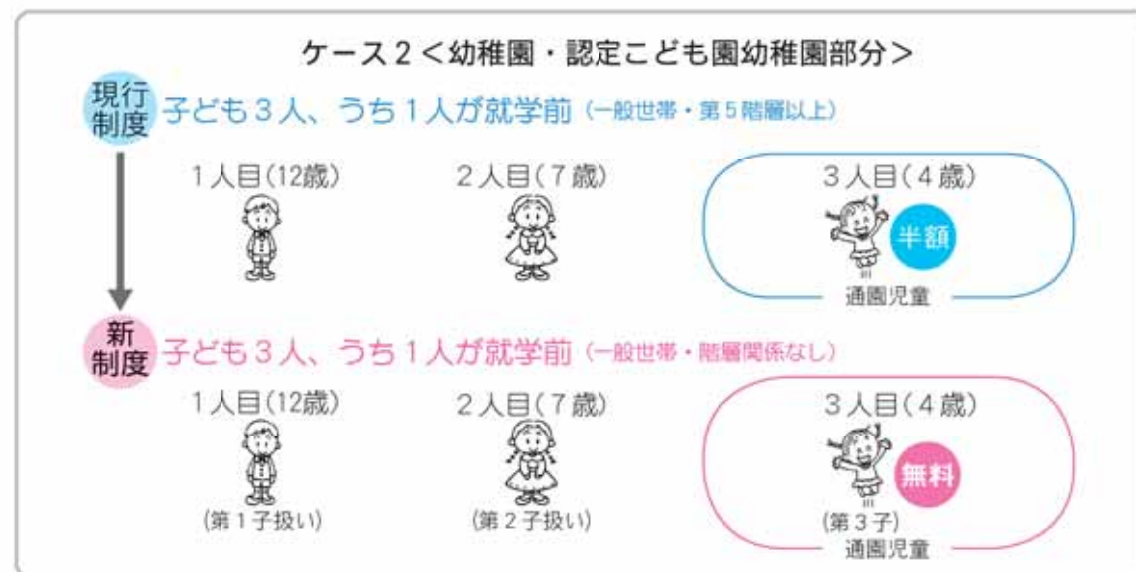
第3子以降（3歳児以上）の保育料を無償化
多子世帯の利用者負担額（保育料）を軽減します

問い合わせ 子ども子育て課 松野 ☎(23) 0075

子育て世帯の経済的負担を軽減し、子どもを産み育てやすい環境を整備するため、保護者の所得や第1子、第2子の年齢に関係なく、第3子以降（3歳児以上）の保育園、認定こども園、幼稚園の保育料を無償化します。

- 対象 牧之原市に住所があり、3人以上の子どもを扶養している世帯の、保育園、認定こども園、幼稚園に通う第3子以降（3歳児以上）の子どもにかかる保育料
 *保護者の所得制限や扶養する子どもの年齢制限はありません。
- 適用期間 平成30年9月分の利用者負担額（保育料）から
- 第3子以降（3歳児以上）保育料無償化に関するQ&A
 - Q1：市外の保育園に通っていますが、対象となりますか？
 ▶牧之原市に住所があれば、市外の保育園などに通う人も対象となります。
 - Q2：保育料を独自に設定している私立の幼稚園に通っていますが、対象となりますか？
 ▶各園で保育料を決定している私立幼稚園に通っていても、就園奨励費補助金の制度により、現行の第3子と同様の補助額を各幼稚園を通じて保護者へ助成します。
 - Q3：申請の手続きは必要ですか？
 ▶無料になる手続きは特に必要ありませんが、扶養する子どもの人数が変わる時は、子ども子育て課へ連絡してください。

★新制度ではこのように変わります！



施設

100年使用でき、100年愛着を持ってもらえる配水池
新大江配水池「水の駅大江」が完成
 問い合わせ 水道課 釜野 ☎(23) 0082

子育て

ひとり親家庭などの生活の安定や児童の福祉の増進を図ります
児童扶養手当制度について
 問い合わせ 子ども子育て課 中嶋 ☎(23) 0071

新大江配水池整備の経緯

平成21年8月の駿河湾沖地震の影響で不動山配水池の給水区域が一時断水となった原因は、水道施設の老朽化に伴うものでした。安定給水を維持するために、有識者や水道経験者など、市民協働による水道審議会を設立し、不動山配水池の更新計画として、新配水池のデザインや配水池躯体の構造を検討してきました。

施設の概要

平成30年3月23日に完成した新大江配水池は、耐久性に優れたステンレス鋼板製タンクを採用。



耐久性に優れたタンクと配管



憩いの場 デザインタイル擁壁

1500㎡のタンクを2基設置することにより、緊急時のメンテナンスを断水せずに行うことが可能となりました。さらに、地震に強いダクタイル鉄管や、計装機器の停電時に備えた太陽光発電システムを設置し、「100年使用できる配水池」となりました。

愛称は「水の駅大江」

また、市民へ開放する新大江配水池を「100年愛着を持つてもらえる」配水池にするため、専門家や地元高校生、大学生などを含めた水道事業審議会で、外観や愛称について検討してきました。配水池周辺や水のイメージから、「自然に集う歴史のまち」をテーマとし、「水や人、自然が集まる（集う）場所」とあるということから「水の駅大江」と命名され、親しみのある配水池となりました。また、憩いの場として、水飲み場やベンチを設置し、水の仕組みについて学習できる概要パネルを展示。さらに、御舟神事や波切不動尊、駿河湾と富士山をモチーフとしたデザインタイル擁壁も設置しました。

児童扶養手当制度とは、ひとり親家庭などに対し、生活の安定や児童の福祉の増進を図ることを目的として、手当を支給する制度です。

支給要件

- 18歳に達した最初の3月31日を過ぎるまでの児童（中度以上の障がいや有する場合は20歳未満）を扶養しているひとり親家庭などが対象で、児童が次の要件に該当する場合に支給されます。
 - ▼ 父母が婚姻を解消した後、父または母と生計を同じくしていない児童
 - ▼ 父または母が死亡した児童
 - ▼ 父または母が重度の障がいの状態にある児童
 - ▼ 父または母が1年以上生死不明の児童
 - ▼ 父または母から引き続き1年以上、遺棄されている児童
 - ▼ 父または母が法令によって引き続き1年以上、拘禁されている児童
 - ▼ 母が婚姻によらない（未婚）で生まれた児童
 - ▼ 父または母がDV保護命令を受けた児童

公的年金との併給について

平成26年12月から、上記の支給要件に該当し、公的年金などを受給している場合で、その年金額が児童扶養手当額より低いときは、差額分の手当が受給できるようになりました。

手続き方法

手当を受けるには、必要書類を添えて申請手続きをする必要があります。状況により必要書類が異なりますので、事前に子ども子育て課窓口にご相談ください。

[平成30年4月からの支給額]

第1子	全部支給（月額）	4万2,500円
	一部支給（月額）	4万2,490円～1万30円
第2子	全部支給（月額）	1万40円
	一部支給（月額）	1万30円～5,020円
第3子	全部支給（月額）	6,020円
	一部支給（月額）	6,010円～3,010円

支払日は年3回（土、日、祝日のときは繰り上げて支給）
 ・4月11日（12月～3月分）
 ・8月11日（4月～7月分）
 ・12月11日（8月～11月分）

防災

平成30年度の実施日は8月26日(日)
牧之原市総合防災訓練を実施します
 問い合わせ 防災課 西原 ☎(23) 0056

今年の総合防災訓練は、大規模地震が突然発生し、津波による浸水や土砂災害などの被害が生じたことを想定し実施します。
 市民一人一人が、訓練を通じて「自らの命は自ら守る（自助）、自らの地域は皆で守る（共助）」という防災意識を持ち、災害時の対応能力を高めるために、積極的に訓練に参加しましょう。

日ごろからの災害対策

- ・住まいの耐震化
- ・備蓄品や非常持出品の点検
- ・家具などの転倒防止の確認
- ・避難場所、避難経路の確認
- ・家族間での安否確認や連絡方法の確認

サイレン吹鳴や緊急速報メールの送信

地震発生や津波襲来を想定した同報無線のサイレン吹鳴や、情報伝達訓練として携帯電話への緊急速報メールの一斉送信を計画しています。

携帯電話の緊急速報メールは、端末の設定によっては「マナーモード設定中」でも音が鳴りますので、注意してください。

総合防災訓練 8月26日(日) 午前9時訓練開始

●訓練事前広報 8月25日(土)	
午後7時30分	同報無線で訓練事前広報を放送します
●訓練実施日 8月26日(日)	
午前6時50分	同報無線で訓練実施（中止）のお知らせ
午前9時	訓練地震発生・訓練開始「サイレン1分間吹鳴」
午前9時5分ごろ	訓練大津波警報 同報無線・緊急速報メール配信で訓練警報発表のお知らせ
正午ごろ	同報無線で訓練終了のお知らせ

遊び

長年利用していただきありがとうございました。
シーサイドプール地頭方が営業を終了します
 問い合わせ スポーツ推進室 政野 ☎(23) 0025

シーサイドプール地頭方は、昭和62年の営業開始以来、地元の方々はもちろん、お盆時期には帰省した家族連れなど、市内外問わず、多くの皆さまに利用していただきました。

建設後30年が経過し、施設の老朽化が著しいため、補修を繰り返しながら営業を続けてきましたが、沿岸部で実施されている津波対策事業においてシーサイドプール地頭方が防潮堤建設予定地となった



このプールで遊べるのも今年で最後です

ため、本年を持って営業を終了することとなりました。

最終日にイベントを企画中

これまでの感謝を込めて、最終日の8月25日(土)には営業終了イベントを企画中です。

最後のプール営業となります。ぜひ家族や友達と遊びに来てください。

営業期間 7月27日(金)～8月25日(土)
 午前10時～午後4時（休憩時間 正午～午後1時）

*詳細は、市ホームページまたは広報6月号を確認してください。
 *営業期間中の問い合わせはプール管理事務所までお願いします。
 ☎(58) 1782

恒例のアヒルレースも開催します！



観光

復活した相良の夏の風物詩
今年も「さがら灯ろう流し」を開催します
 問い合わせ 情報交流課 浅井 ☎(23) 0040

開催の経緯

平成23年、20年以上前まで開催されていた「さがら灯ろう流し」を復活させようと地元有志で話し合いを進めていたところ、東日本大震災が発生。第1回目は、復興支援と犠牲者の慰霊を主な目的として開催されました。

「さがら灯ろう流しの会」では、平成23年の第1回から、収入の一部など（販売した灯ろう1灯500円のうち100円および会場での寄附金）を東日本大震災義援金として、福島県南相馬市に送り続けています。

今年新しい催しも

今年で8回目となる「さがら灯ろう流し」は、▼永く続く地元（相良地区）の一大イベントにすること（交流の拡大、賑わいの創出など）▼子ども達の思い出に残すこと▼東日本大震災の復興祈念・犠牲者の慰霊▼先祖の供養の4つを主な目的として開催します。

今年、盆踊りや子ども手筒花火無料体験など、新しい催しもあります。ぜひ、参加してみてくださいいかがでしょうか。



川面に幻想的な光景が広がります

日時 8月15日(土) 午後5時～
会場 萩間川河口 湊橋～新橋間
内容 ▼午後5時～ 新橋にて盆踊り（参加自由）▼午後6時ころ 相良仏教会による川施餓鬼供養▼午後7時ころ、灯ろう流し（大灯ろう100個、小灯ろう300～400個）▼午後8時ころ、子ども手筒花火無料体験▼午後8時20分ころ、「遠州新居の手筒花火」披露
 *昨年からは供養大灯ろう（1灯5000円）も販売。
 *詳細については、「さがら灯ろう流しの会」伊藤まで。
 ☎090(3151)1286

公開

25年に一度の大変貴重な機会です
清水堂の秘仏・千手観音が御開帳されます
 問い合わせ 社会教育課 長谷川 ☎(53) 2646

清水堂（坂部）の千手観世音菩薩立像が公開されます。
 この仏像は、25年に一度だけ御開帳される秘仏で、仏像の高さは135センチ、全長は152センチあり、鎌倉時代の作と推定されています。

家内安全、招福開運、厄除けにご利益があるとされるほか、江戸時代には眼病・皮膚病の平癒、豊漁祈願、航海安全にご利益があるとして、厚い信仰を集めました。

当時の記録には、「東西南北の遠近によらず、老弱若女男群集して利益を蒙る者あげて数へ難し。誠に難有観音也。」とその様子が語られています。

一説によると、東大寺大仏の造立に大きく貢献した奈良時代の名僧・行基が、諸国巡行のときに彫刻した3体の仏像の一つとも伝え



千手観世音菩薩立像

られています。昭和44(1969)年には、市の文化財に指定されました。
 御姿を拝観できる、一生に一度あるかないかの大変貴重な機会です。また、堂内に掲げられた地獄・極楽の絵馬も見どころです。ぜひ参詣してみてください。

公開日 8月16日(日)
場所 牧之原市坂部4052 中里（谷田山）の清水堂
拝観時間 午前10時～午後3時
祭典法要 正午～
花火大会 午後7時～（予定）
 *雨天順延



清水堂